

産商第82号

平成27年4月7日

京都機械工具株式会社  
代表取締役 宇城 邦英 様  
上新電機株式会社  
代表取締役 中嶋 克彦 様

京都市長 門 川 大 作

大規模小売店舗立地法による届出に対する市の意見について（通知）

平成26年8月29日付けで届出のあった大規模小売店舗について、大規模小売店舗立地法（以下「法」という。）の規定により、下記のとおり通知します。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

ショッピングセンタートバポ

京都市伏見区下鳥羽渡瀬町101番地ほか6筆

2 法第8条第4項の規定による市の意見について

現在の状況及び意見書の提出状況等に配慮するとともに、大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に関する指針（平成19年経済産業省告示第16号）を勘案し、届出書類を総合的に検討したところ、本変更計画の実施による周辺の地域の生活環境への影響は少ないと判断し、市は意見を有しないものとします。

3 付帯意見

夜間の自動車走行騒音への対策として、駐車場内における徐行の注意喚起を行うとともに、問題が起こった場合には、誠実に対応することが望まれます。

## 意見理由

### 1 現在の状況（立地状況等）

当該商業施設は、都市計画法上の準工業地域に位置している。

周辺の状況は、北側は丹波橋通を隔てて共同住宅及び駐車場、東側は工場及び住居等、西側は国道1号を隔てて飲食店、事業所及び工場、南側は道路を隔てて工場が立地している。

なお、当該施設は三つの店舗（西友下鳥羽店、ひごペットフレンドリー、アサヒプラザ下鳥羽店（閉店済））が一つの敷地内に立地している。

### 2 説明会の状況

法第7条第1項の規定に基づき開催された説明会において、工事期間中の工事車両の出入り及び通学生徒への安全対策、駐車ゲートの変更の有無、樹木の植栽、店舗の開店日等についての意見及び質問が出された。

### 3 意見書

法第8条第2項の規定により提出された意見はなかった。

### 4 市の見解

今回の変更は、アサヒプラザ下鳥羽店の建替え（（仮称）ジョーシン電機下鳥羽店の出店）に伴う駐車場の位置の変更、駐輪場の位置の変更、荷さばき施設の位置及び面積の変更、廃棄物等保管施設の位置の変更、来客が駐車場を利用することが出来る時間帯の変更及び荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯の変更である。合わせて、ひごペットフレンドリーの荷さばき施設の位置及び荷さばきを行うことができる時間帯の変更も届け出られている。

なお、店舗面積が増加するが、届出が不要な変更該当する、届出店舗面積の一割に満たない面積の増加であるため、届け出られていない。また、駐車場及び駐輪場の収容台数並びに廃棄物等の保管施設の容量も増加するが、届出が不要な変更該当するため届け出られていない。

今回の変更による影響について、指針に掲げる事項との関連では、店舗面積の増加により、来客数が増加し、駐車場利用者や自転車による来店客が増加すること、廃棄物排出量が増加すること、新設店舗の新たな室外機等の設置や、駐車場、廃棄物等の保管施設並びに荷さばき施設の位置の変更に伴い、等価騒音レベルの増加及び夜間における騒音の発生が予想される。

以下の内容を踏まえた結果、周辺環境に与える影響は少ないと判断される。

#### （1）駐車場について

従前の店舗の営業実績及び予測によると、ピーク時においても駐車場の空き台数があるため、収容台数に不足が生じる恐れは少ないと考えられる。

また、駐車場の位置の変更については、施設配置及び車両経路等についても適正な配慮がなされており、出入口の位置の変更もないことから、周辺的生活環境への影響

は少ないと考えられる。

(2) 駐輪場について

京都市自転車等放置防止条例に基づく付置義務台数を確保するとともに、現状の利用実績及び予測においても必要な台数を確保しており、収容台数に不足が生じる恐れは少ないと考えられる。

(3) 荷さばき施設について

荷さばき施設については、その施設配置、運営計画等について配慮されており、周辺的生活環境に影響を及ぼす恐れは少ないと考えられる。

(4) 騒音について

当該店舗及びその周辺は準工業地域であり、昼間及び夜間の等価騒音レベルについては、変更後の予測でも環境基準値を下回っている。

夜間における騒音の最大値については、店舗西側の駐車場出入口において、自動車走行騒音が規制基準値を上回るが、道路を隔てた敷地境界においては規制基準値を下回っていることから影響は少ないと考えられる。

なお、届出者においては、夜間の自動車走行騒音への対策として、駐車場内における徐行の注意喚起を行うとともに、問題が起こった場合には、誠実に対応することが望まれる。

(5) 廃棄物等保管施設について

現在の廃棄物等の保管施設で問題が生じていないとともに、新たに建て替える店舗についても、指針に基づく予測により必要な保管容量が確保されている。

また、施設配置及び車両経路等についても適正な配慮がなされており、周辺的生活環境への影響は少ないと考えられる。